

mFOLFOX6+Cet

〈対象疾患〉切除不能/進行再発 結腸・直腸癌

治療内容(1クール期間: 14日・総クール数: 回)

	薬品名	1日投与量	手技	投与ルート	投与時間 ・速度	投与日 1・・・3・・・8・・・14
①	生理食塩水	50ml	ルートキー プ・フラッ シュ用	主管		day 1, 8
②	アロキシ(0.75mg) デキサメタゾン(デキサート) (6.6mg) 生理食塩水	1V 1V 100ml	点滴静注	側管	15分	day 1, 8
③	レスタミン(10mg)	5錠	経口	経口	①開始時	day 1, 8
④	アービタックス(初回400mg/ m <sup>2</sup> ) 生理食塩水 (初回400ml)	250mg/m <sup>2</sup> 200ml	点滴静注	側管	60分 (初回: 120分)	day 1, 8
⑤	生理食塩水	100ml	点滴静注	側管	60分	day 1, 8
⑥	5%ブドウ糖 レボホリナート	250ml 200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	主管	2時間	day 1
⑦	5%ブドウ糖 オキサリプラチン	250ml 85mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	側管 (⑥と同 時)	2時間	day 1
⑧	5%ブドウ糖 5FU	100ml 400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	側管 (⑦終 了後連 続で)	15分	day 1
⑨	生理食塩水 5FU	全量で140ml 2400mg/m <sup>2</sup>	インフュージョン	主管	46時間	day 1-3
⑩	ポート用生食注シリンジ	20ml	静注	主管		day 3

## 〈備考〉

2週を1クールとして繰り返す  
インフュージョンポンプ使用

アービタックスは初回のみ400mg/m<sup>2</sup>でinfusion reactionがあるためゆっくりと投与。  
投与後生食100mlを1時間点滴して経過観察を行う。

2回目以降は250mg/m<sup>2</sup>で1時間で投与とする。